

高島市更生保護女性会 更女



更生保護女性会の主な活動

- ◇犯罪、非行予防活動の実施
- ◇子育て支援・青少年健全育成活動
- ◇社会貢献活動に対する協力
- ◇更生保護施設・矯正施設への協力

《協力：高島市社会福祉課》

更生保護女性会綱領

- 一、私たちは一人ひとりが人として尊重され社会の一員として連帯し、心豊かに生きられる明るい社会をめざします。
- 一、私たちは更生保護の心を広め、次代を担う青少年の健全な育成に努めるとともに、関係団体と連携しつつ、過ちに陥った人たちの更生のための支えとなります。
- 一、私たちは知識を求め自己研鑽に励むとともに、温かな人間愛を持って明るい社会づくりのために行動します。

『安全・安心な 地域社会づくり』



高島市長

福井 正明

更生保護女性会の皆様には、日ごろから青少年の非行防止、犯罪や非行に陥った者の更生、社会復帰への支援などにご尽力いただきありがとうございますことに對しまして、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年来、新型コロナウイルス感染症により、不要不急の外出自粛や生活様式の見直しなど、私たちの日常生活や経済活動は大きな影響を受けています。更生保護活動においても、思うように活動できないものどかしい日々をお過ごしのことと推察いたします。

そのような状況のもとではございますが、更生保護女性会の皆様の「ほっとけない」精神のもと、地域でのボランティア活動や更生保護施設への訪問など、地域のため、支援が必要な人のために、様々な工夫を重ねながら活動いただいておりますことに改めて敬意を表す次第です。

本市といたしましても、更生保護女性会の皆様や、さまざまな地域福祉活動をいただいております皆様と一緒に力を合わせ、住みたい、住み続

『今出来る事』を 皆様と共に



会長

嶋崎 ひな子

けたいまちの実現に向けて取り組んでまいりますので、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、高島市更生保護女性会の益々のご発展と、皆様のご健勝、ご活躍をお祈り申しあげます。

うららかな日差しが巡ってまいりました。ただコロナ株も型を変えつつ巡っております。ウイズコロナ時代と再度据え直し、皆様の辛抱強さと深いお知恵で「今出来る事」を探り進めていきたいと願っております。

さて、におのうみ川柳募集に際しましては、会員のみならず地域の皆様から更生保護に対する深い理解と生きづらさに対しての温かいまなざしや応援の気持ちを、ご投稿いただき有難うございました。

子ども達との交流を通して、笑顔にほっとされる方、ヤングケアラーに心痛める方、困っている人に力になりたいと思う方、何があるうと居てくれるだけで嬉しい気持ちを詠んだ方、誰にでもできる事は？・・・と考えた方等々枚挙にいとまない

百四十一句の思い。まさに人に対するの思いやりで溢れ、地域を支える優しい方々その営みに気付かされ感動致しました。

時を同じく、十一月に大津・高島地区ブロック研究協議会で大津観察所所長様からの貴重な学びの中で、「一人に対しての思いやりから更生保護は始まる」とのお言葉や、また地域との連携の大切さ等強調され、気づきと学びが重なり合いました。励まされ、パワーをいただいた思いが致しました。

また、愛の協賛金のご協力を得て更生保護施設光風寮への寄贈等、皆様の温かいお気持ちを手渡せました事も、嬉しい事でありました。有難うございました。



更女としての強みを生かした活動を、日々の営みから見出し、地域のいろいろな立場の方々や連携しながら、孤独感を生まない、任んでよかったと思える安心な地域づくりを、会員や地域の皆様と力を合わせ、楽しみながら進めていきたいものです。



～誰一人取り残さない地域のちから～

各支部の更女活動

コロナ禍の今、
何ができるか考えながらの
支部活動

高島支部

誕生日プレゼントづくり

配食サービスをうけられてい
る高齢者の方へ誕生日プレゼント
として、毎月花束をお渡しして
います。

冬場は花
がないので、
つまみ細工
で花を作り
壁飾りにし
てお贈りし
ました。



一般公開ケース研究会

高島公民館
小ホールにて、
参加者十六名
で、多胡先生
の講演を聴き
意見交流をし
ました。

生きづらさを抱えた子ども達
には、様々な立場、タイプ、年
代の人が「ごちゃまぜ、まぜこ
ぜ」になる居場所
が必要であること
を学びました。



安曇川支部

地域のボランティアと連携して

高島市社協の依頼を受け、赤
い羽根共同募金の法人へのお礼の
品としてペットボトルのキャップ
再利用で磁石を作成、他のボラ
ンティア団体と連携して五百個余
りを作りました。

安中カフェ教室
で作っていたこと
もあり中学生の校
友会の生徒達も放
課後慣れない手つ
きで一生懸命手伝ってくれました。
生徒から元気をもらって一緒に
取り組めたことはとても意義深
い事だと思えました。



コサージユを卒業生に

会員の中に手
先の器用な方が
好意で昨年度か
ら町内の小・中
学校の卒業生と
先生方にコサー
ジユを贈呈。一個一個明るい未来
を願って心を込めて作られたもの
です。子どもや学校からは感謝
の声が届いていました。



新旭支部

学童保育での活動・
駐在所へ

十一月には学童保育トライア
ングルへ、ティッシュペーパー
をお渡ししました。素直で元気
な子ども達の顔を見るだけでも
明るい気持ちになりました。

一月には、
駐在所へ感謝
の気持ちを込
めてシクラメ
ンの花をお届け
しました。



子ども食堂に参加

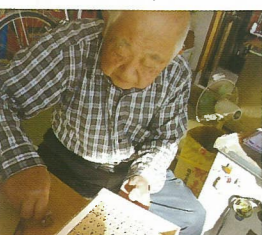
住民福祉協議会主催
の子ども食堂に他団体
と共に参加しました。

毎回五十人前後の参加
がありますが、感染防
止のためのテイクアウ
ト式になり、不必要な容器(プラ
スチック)を使用しなければなり
ません。後片付けの手間は省けま
すが、プラスチックゴミを出すこ
とになり、ちよと頭の痛い所でし
た。また、大型の紙芝居やジャン
ケンゲーム、ビンゴゲームなど密
にならない活動を工夫しました。

今津支部

今津中学校訪問

今津中学三年生の皆さんにプ
レゼントです。手作り上手な井
上さんに木履(ぼくり・ぼっくり)
作りをお願いし、私たちは鼻緒
に合う布を求めてお店回り、細
長い鼻緒を数種類仕上げ、一對を
考えてボンド
で乾燥を繰り
返し完成。木
の強さの中に
暖かい温もり
を感じます。



中江藤樹先生のことばから
「一心に努力すれば力がつく」
これから多くの夢が努力により
叶うことでしょう。

三学期の卒業式が
終われば、義務教
育を終え、それぞれ
が目標を持ち新しい
道を進みます。

そして、地域社会
の一員としての活躍
も楽しみにしています。今津中
学校で一緒に学んだ先生も友達も
地域の皆さんもいつもあなたの
味方で応援しています。



におのうみ川柳

あたたかなまなざしでより添いを

- 応募作 百四十句
三月から市内六公民館にて展示
県選 二十点
- 特別賞(一句)**
背中押す 言葉に笑顔
そっと添え 北饗庭 源
- 入選(一句)**
支援の輪 やがて大きな
笑顔の輪 佐々木 絹代
- 県入選(十八句)**
君はもう 一人じゃないよ
仲間だよ 山田 紀美
声かけは 心はんなり
人との輪 八木 明美
地域の目 子どもの未来
照らし出す 山本 ヤエコ
変われるよ 一步ふみだす
勇気でね S.K
寄り添えし 我が子と同じ
他の子も 安原 操代
つながろう 世代を超えて
生き生きと 徳村 明美
更生の 心育む
地域の輪 清水 勉
つらくても 明かるい朝は
きつとくる 小川 美紗子
歩もうよ 輝くあなた
きつといる こかぶ

くらしの中に川柳を
芝原 忍氏

川柳は何気ない日常生活の中で心
に残る思い出や、楽しさ、哀れみ、
切なさ等十七文字と言う短い文章で
表現し、くらしの中から生まれてく
る暮らしの心の叫びであると思っ
ています。俳句は、「もの」を詠み川
柳は、「ごと」を詠むと言う先人の
言葉を念頭に作品十七文字でリズム
感、表現方法等微力ながら選考させ
て頂く中で優秀な作品が多い中より
選句する難しさもあらためて実感し
ました。

更生を めざす心に
地域の輪 太田 美智子
きつといる あなたを信じて
くれる人 中川 亮子
ほんとうの 心の引きだし
あけてごらん 鷺江
自分だけ 一人じゃないよ
聞かせてね 西川 絹代
許し合い 感謝忘れず
今生きている 橋本 空
苦しいよ 言ってもいいの
守るから 山原 恵子
多様性 みんなが認めて
住みよい社会 ハシビロコウ
その言葉 一つで左右
生きる道 心はいつも青春
助けよう 見つけよう
あなたの居場所 兼田 弥栄子

第一ブロック研究協議会
駒井 利枝

十一月十八日、ふじのきホールに
おいて、大津・高島地区の合同で研
究協議会が開催されました。大津保
護観察所長の藤田先生の講演を聴き、
更女の活動について、再犯防止に直
接つながらなくても、人が人と思っ
やる活動をすればよいとお話しされ
たことが、一番心に残りました。

高島支部には、大正琴の演奏で介
護施設を慰問されたり、お手紙ボラ
ンティアをされたり、人を思いやる
活動をされている方がいます。この
講演会で、高島支部の更女活動も、
今まで通り独居高齢者のかたへの誕
生日のお祝いな
ど、思いやりの
ある活動を地道
に続けていけば
よいと思いまし
た。

また、それが
自分にとって楽
しく感じられる
活動であればい
いなと思いまし
た。



中堅会員研修会
川妻 次美

十二月十日、大津びわ湖合同庁舎
で行われた研修会では、「コロナ禍に
おける更女の活動」として、各支部
の取り組みが報告されました。

三密、換気、マスク、人数制限
事業縮小などの制約の中、子ども食
堂や保護司会との交流の他、フード
ドライブ、校舎の窓ふき(外側)や
消毒作業、高齢者のワクチンネット
申し込みの手助け等々、いろいろな
アイデアが紹介されました。

ささやかに、さりげなく、できる
範囲で、そんな事を学ばせていた
だいた半日でした。

新会員研修会 中川 恵子

入会のお誘いを簡単に受けてしまっ
た事への反省と更に緊張気味で参加
した新任研修でした。

研修内容は、スライドを中心に判
りやすく「出来ることから始めたら
いい」「どんな活動をすべきか決まり
はない」等々、説明を聞き、肩肘張
っていた気持ちが楽になりました。

助け合う、助けてもらう、共に話す、
聞く、笑う、楽しむ等々の交わりづ
くりの様々が、地域づくりに反映す
るのではと思っています。そんな機
会があれば、しなやかな心持ちで参
加している事を、私ははじめの一步に
したいと思えました。

各支部の更女活動

その二

朽木支部

地区のイベント

『紙飛行機大会』



小学生以下の子どもと親、老人会の参加もあり、熱気にあふれた紙飛行機大会になりました。

おじいさんは、昔の記憶を呼び覚まし、子ども達に作り方を教えながら、自分用も作り飛ばす方法も一緒に考えながら工夫し、いざ大空へ。やや曇り空の下、順番に紙飛行機を飛ば

しました。

うまく風に乗って飛んでいく飛行機を見て喜ぶ子。

一番飛んだのは、おじいさんで、破顔一笑、楽しい時間を過ごしました。

また来年もしようとして、子ども

大人、双方から声があがりました。



マキノ支部

『絵本・お花』をプレゼント

東・西子ども園に人権に関する絵本を進呈しました。園児達には、絵本に親しんでほしいし、さらに人権感覚がそなわってほしいなと願って進呈しました。

福祉施設や駐在所を訪問し、入所者様の癒しになればとお花をお届けしました。

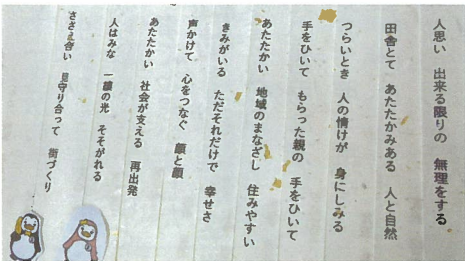


マキノ中学校訪問

におのうみ川柳の依頼に行きました。沢山の応募をして頂きました。「生きづらさ」を抱える人たちへの支援と、更生保護の活動を理解して頂く機会となりました。

また、「二〇二

私の思い」の発表者にはノート等を進呈しました。



今年度の主な取り組み

- 令和3年
 - 5・10 ……総会中止 書面表決
 - 7・10月まで……におのうみ川柳募集
 - 10・7 ……更生保護施設「光風寮へ」米・衛生用品・金一封寄贈
 - 11・18 ……第一ブロック研究協議会
 - 12・3 ……役員研修 高島警察署へ
- 令和4年
 - 2・1 ……詐欺予防啓発活動 啓発川柳
 - 2・14 ……会員研修会 中止
 - 3月 ……県、市役員会



警察署と滋賀銀行安曇川支店との連携による詐欺予防啓発活動実施。役員研修にて詐欺予防についての学びを川柳とする。

受賞おめでとうございます

○再発防止民間協力者滋賀県知事 感謝状 大森 ユリ子

○近畿地方更生保護委員会委員長 感謝状 前田 啓子

○近畿更生保護女性連盟 会長賞 野崎 季乃

○大津保護観察所長 感謝状 赤崎 民江

感謝状 足立 菊江

役員名簿

- 会長／嶋崎ひな子
- 副会長／小久保照代
- 石田八重子
- 会計／山田紀美
- マキノ／山本一代・伊吹康子
- 今津／河原田洋子・西川絹代
- 朽木／武内潮美・岡村美也子
- 安曇川／安原操代・石黒紀代子
- 高島／駒井利枝・金田群子
- 新旭／足立菊江・川妻次美



編集後記

昨年から新型コロナウイルスが猛威を振るい、その中で、各支部会員の皆様の今出来る事を模索しての活動を取り組んでいただき、発刊することができました。また、地域の皆様にもご支援・ご協力いただきました。今後ともよろしくお願い致します。

～編集委員～